

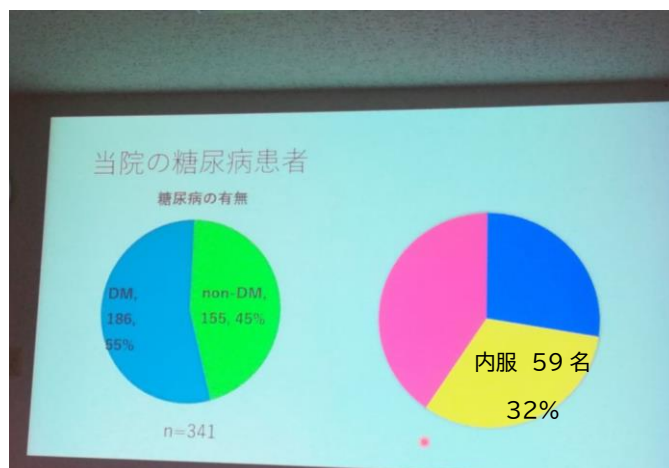
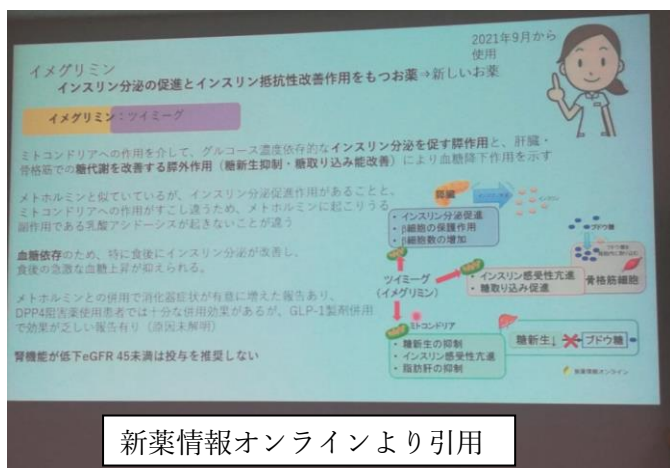
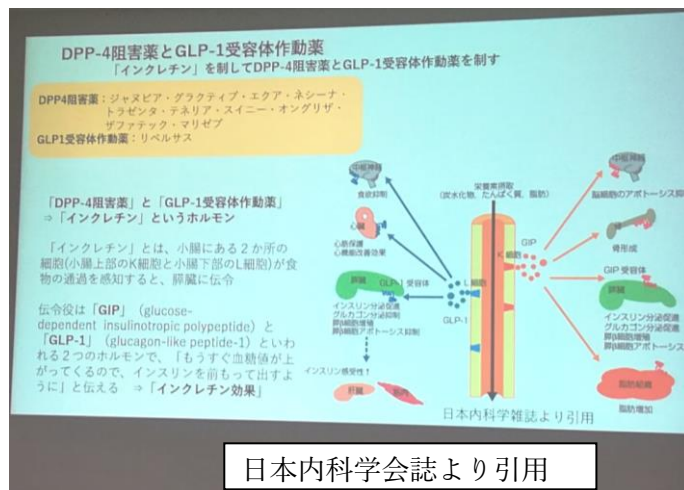
看護部生涯教育

日 時：令和5年 11月7日（火）16：40～17：15

場 所：新王子病院 4階 会議室A

テーマ：糖尿病治療薬～内服薬編～

講 師：看護師 永田 真紀



血糖値を上げる体内物質はグルカゴンやアドレナリンなど4種類ありますが、血糖値を下げる体内物質はインスリンしかありません。膵臓から分泌されたインスリンは、細胞に作用してブドウ糖を細胞内に取り込むことで血糖値を下げます。糖尿病にはインスリンが完全に欠如するためにインスリン治療が必要な「1型糖尿病」と、遺伝と生活習慣病が原因で内服薬やインスリン治療を行う「2型糖尿病」があります。

今回は2型糖尿病で使用する糖尿病薬についての研修でした。糖尿病薬は1990年頃までは、インスリン・スルホニルウレア（SU薬）・ビグアナイド薬の3種類でしたが、現在は9種類まで増えています。

2型糖尿病の病態は、インスリンの分泌低下とインスリン抵抗性増大です。そのためインスリン治療薬は①インスリン分泌促進薬（分泌を増やす）、②インスリン抵抗性改善薬（インスリンの効きをよくする）、③糖吸収・排泄調整薬（糖の吸収を抑えたり排泄を促進して糖分の上昇を抑える）の3つに分類できます。2014年から使用されているSGLT2阻害薬（血糖を下げるだけでなく心保護作用や腎保護作用の報告あり）、2021年9月から使用されているイメグリミン（インスリン分泌促進・インスリン抵抗性改善薬）などの新薬についての紹介や、DPP-4阻害薬やGLP-1受容体作動薬に関連するホルモンの「インクレチン」について分かりやすく説明されました。

当院の透析患者さん（341名）の55%（186名）が糖尿病を有しており、その32%が内服治療を受けています。腎機能障害では使えない薬剤、服用方法や服用時の注意、休薬が必要な場合など、看護師として知っておきたい内容でした。